

カラフル通信



国語の学習で「時計の時間と心の時間」という説明文の学習をしています。筆者は「心の時間に目を向けることが、時間と付き合っていくうえで、とても重要であると考えている」と述べています。「心の時間」とは、私たちが体感している時間のことです。

事例として「その人が行っていることをどう感じているかによって、進み方が変わる」と述べています。子どもたちはその例として、次のように書いていました。「授業の30分とゲームをしている30分は進み方が違う」「ゲームの時はあっという間。授業は、まだ終わらないのかな～、という感じ。」正直ですね。他にも、「Youtube」の広告は5秒くらいだけど長く感じる。ゲームの起動時間が長く感じる。などなどあげられました。他にも、「朝はぼーっとしているから、いつの間にか登校の時間になっていることがある。」「夜、眠れないとき長く感じる。」など、自分の体験と重ねて考えることができました。

そして忘れてはならないことは、「時計の時間」と「心の時間」には必ずずれが生まれることです。登校の時、1年生の歩くペースに合わせるのが難しいのは、一人一人の心の時間の感覚が異なるからです。異なるペースで作業を続けるとストレスを感じると言われていました。のんびりして学校や習い事の準備をしていない様子を見て「早くしなさい！」なんてつい言うってしまうのもそのせいかもしれませんね（牛久家も含まれます）。これらのことを頭に入れて、時間と上手に付き合うと同時に、「一人一人の感覚がある」ということを知り、「みんな違っていいんだ」と、多様性を受け入れられるようになってほしいものです。

（ポロシャツの写真はフルネームが表記されてしまうので掲載を見合わせました。夏の面談の時に廊下に飾っておきます。）





体育でバレーボールをやっているのですが、ネットを張ったり、試合の審判をしたり、安全に活動できるように見守ったりするなど、お手伝いを募集します。体育は、火6、水4、金6です。興味がある方はぜひご一報ください。詳細は後ほど連絡帳等でお知らせします。よろしくお願いします。